

はま おか さ きゅう みち えき  
浜岡砂丘・道の駅周辺エリア

風・海・砂丘・農の営みを五感で楽しみ伝える

はま おか さ きゅう みち えき かぜ お まえ ざき  
浜岡砂丘・道の駅 「風のマルシェ御前崎」



①風・海・砂丘等が織りなす美しい景観



② 農の営みからなるにぎわい景観



③海や市街地が見渡せる神社等からの眺望

所在地	静岡県御前崎市池新田9124周辺～静岡県御前崎市合戸4384-1周辺
面積	約340ha
施設	<p>①浜岡砂丘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天竜川から流出する土砂が潮流によって運ばれ形成された砂丘</li> <li>・夏は砂遊び、冬は風紋（ふうもん）を見ることができる</li> <li>・砂丘の入口には無料駐車場と簡易シャワーあり</li> </ul> <p>②道の駅「風のマルシェ御前崎」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物直売所、展示温室、交流研修施設、農作物加工施設、体験農園</li> </ul>
アクセス	<p>【車】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掛川駅から車で約35分</li> <li>・東名高速道路 相良牧之原 I Cから約25分</li> </ul> <p>【公共交通（バス）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御前崎市役所前もしくは浜岡営業所から浜岡砂丘まで、徒歩約20分</li> <li>・御前崎総合病院から道の駅「風のマルシェ御前崎」まで、徒歩約20分</li> </ul>

## 自然

「浜岡砂丘」は、天竜川から放出する土砂が沿岸潮流に乗り、『遠州の空っ風』と呼ばれる強い西風によって内陸へ運ばれて形成された太平洋側最大級の砂丘である。

昔は砂のまちといえるほど海浜砂の被害が多く、西風が吹く度に飛砂による風下の集落や畑地の埋没があった。そこで堆砂垣を風向きに対し斜め45度方向に立てて、風力が衰えた砂を垣の根にたまらせる方法で砂丘の固定化事業が行われた。この技術により、吹き付ける飛砂は大きく方向を変え、集落や畑へ到達することなく、海岸に堆積し、砂丘の列（人工斜め砂丘）となった。人工斜め砂丘は、風というエネルギーを巧みに利用した自然改造による独自の景観であり、全国でも希である。

また「浜岡砂丘」では5～8月頃までハマボウフウやハマヒルガオ、コウボウムギ、イワダレソウなどの海浜植物も見ることができる。

## 観光・生業

「浜岡砂丘」では夏には浜遊びを楽しんだり、冬には風が創り出す芸術『風紋（ふうもん）』の姿を見ることができる。また、天候の変わり目に突然鳴り出し、すっと鳴りやむ遠州灘の海鳴りを『波小僧』と呼び、遠州七不思議のひとつに数えられる不思議な現象を体験することができる。

「浜岡砂丘」の北側にはカワツザクラの並木道があり、2月中旬～3月中旬には約230本の河津桜が見頃を迎え、多くの観光客が訪れる。

道の駅「風のマルシェ御前崎」は、平成26年4月5日に御前崎市の「農業振興拠点施設」としてオープンした。御前崎市をはじめ、近隣の地域より毎日新鮮で美味しい農産物や地元ならではの惣菜等を購入することができる。

また道の駅周辺には市営の観光農園や民営の観光農園が存在し、イチゴ狩りや芋掘り等を楽しむことができ、来訪者と農をつなぐ場として利用されている。

## 2. 対象エリアの位置図





## 2. 対象エリア図





## ① 風・海・砂丘等が織りなす美しい景観

### (1) 自然



#### 風が創り出す砂丘景観

遠州灘に広がる「浜岡砂丘」は、天竜川から放出する土砂が沿岸潮流に乗り、『遠州の空っ風』と呼ばれる強い西風によって内陸へ運ばれて形成された太平洋側最大級の砂丘である。「浜岡砂丘」では、風紋が刻まれた砂浜、青い海、海から吹く風、整然と並ぶ風力発電施設が織りなす美しい景観を見ることができる。

しかしながら近年では海岸侵食により砂丘が減少しているため、対策を講じる必要がある。

### (2) 住民活動



#### 住民主体の活動の継続

「御前崎海岸」や「浜岡砂丘」ではハマボウフウやハマヒルガオなどの珍しい海浜植物を見ることができる。

住民や事業者等はこれらの貴重な自然を大切に思っているため、地域貢献活動のひとつとして「浜岡砂丘」のクリーン活動に取り組んでいる。このようなクリーン活動は、住民等にとっての愛着や誇りの醸成と共に、美しい景観の維持につながるため、これからも継続されるよう、支援が必要である。

### (3) 眺望



#### 砂丘から風・海・砂などが織りなす景観を一望できる

砂丘の上からは水平線に広がる海や整然と並ぶ風力発電の景観等を楽しむことができるが、地元の認知度は高いものの、市外からの観光客にはあまり知られておらず、道の駅と比べ来客数が少ない。

このことから、「浜岡砂丘」の魅力を伝え、感じさせることができる場の整備が必要である。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・景観を形成する砂浜が減少
- ・砂浜のクリーン活動の継続
- ・砂丘の魅力を最大限に感じさせる視点場の不足と魅力のPR

## ② 農の営みからなるにぎわい景観

### (1) 農の営み



#### 農の営みを体感できるにぎわいの場

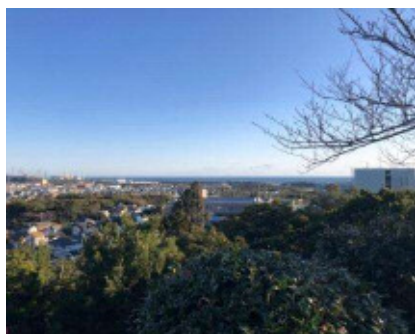
道の駅「風のマルシェ御前崎」は年間約20万人（H30年）もの来訪者が訪れる観光地であり、野菜を買う人々やイベントに集まり・にぎわう景観が特徴的である。また道の駅周辺の体験農園では毎年500～600人が野菜採りに訪れ、農にふれあい楽しんでいる。

しかしながら、農業の高齢化等により農の文化や農の景観が失われる恐れがあることから、地域への愛着増進や農業人口対策のため、道の駅に集まる多くの来訪者を発端とし、これからもより多くの人に農業の魅力や大切さを伝えていく必要がある。

また道の駅は年間を通じて多くの人々が訪れるが、外からでは施設内のにぎわいが見えないような作りとなっている。道の駅の魅力さをさらに伝えるために、外から見た時にもにぎわいが見える工夫が必要である。

## ③ 海や市街地が見渡せる神社等からの眺望

### (1) 眺望



#### 魅力的な眺望を楽しめる周遊ルート

「浜岡砂丘」や道の駅以外にもエリア周辺には魅力的な場が存在する（「白砂公園」、「カワヅサクラの並木」、「大山不動尊」からの眺望等）。特に「大山不動尊」などから見える眺望は、市街地から海まで広く見渡すことができ、砂丘や農の営みとは異なる遠景の眺望を楽しむことができる。

地域景観ミーティングでは、「国道150号～浜岡砂丘」までや「道の駅～観光農園」への案内標識が少ないためわかりづらい、「道の駅と浜岡砂丘」は歩くには遠く、両方に訪れる観光客は少ないとの意見が出た。また、「大山不動尊～浜岡砂丘」に立ち寄ってほしいとの意見も出たことから、エリア全体を巡ってもらえる仕組みや環境の整備が必要である。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・訪れる人々を迎えるおもてなしの整備が不足
- ・砂丘～道の駅エリアの景観を楽しむことができるモデルルートや環境整備（アクセスする手段やサインが不足）
- ・眺望が楽しめる視点場（ベンチ等）が不足

## 風・海・砂丘・農の営みを五感で楽しみ伝える 浜岡砂丘・道の駅 「風のマルシェ御前崎」

### 地域住民の視点

- ・観光地として非常に有名で、砂丘からの海への眺望や砂丘の風、春の河津桜などが有名
- ・海岸侵食による砂丘の減少が課題
- ・砂丘に砂を運んで盛土したが流木等が露出していて残念
- ・労働体験ができる市民農園や道の駅で、農業体験や農産物の購入を楽しむ事ができる
- ・特に市民農園には年間500～600人が訪れる
- ・観光農園は経営者が高齢化
- ・150号～浜岡砂丘までの案内の看板が少なく、アクセスがわかりにくい
- ・二つの場所が近すぎるために両方に観光客に行ってもらえない環境にある
- ・高松神社、浜岡カントリー、不動尊からの市内を眺望できる
- ・高松神社西側の道路から見る海がきれい

### 有識者の視点

- ・農業の楽しさと砂丘との一体感は、ここならではの特性
- ・サインがなくて、どこに観光農園があるのかわかりづらい
- ・(浜岡砂丘および道の駅周辺エリアに限った話ではないが、) 主要拠点の観光情報だけでなく、季節ごとの魅力や、どんな体験ができるかについてのお楽しみ情報を集約したわかりやすいマップを作る必要性を感じた

### 目標 1

美しい砂丘を伝える  
景観づくり



#### 景観づくり方針

- ①風、海、砂丘、植物等から構成される浜岡砂丘景観を維持し、後世に伝える
- ②美しい砂丘景観を伝える視点場づくり

### 目標 2

農を通じた自然の  
大切さ、楽しさを  
伝える景観づくり

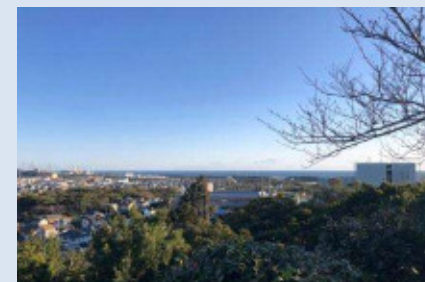


#### 景観づくり方針

- ①通過者や観光客に農の景観を見せ、魅力を伝える

### 目標 3

砂丘と道の駅周辺を  
一体で楽しむことが  
できる環境整備



#### 景観づくり方針

- ①エリア全体を楽しむことができるおもてなし空間づくり
- ②市内と海を一体的に楽しめる視点場づくり



目標1 美しい砂丘を伝える景観づくり

方針1-① 風、海、砂丘、植物等から構成される浜岡砂丘景観を維持し、後世に伝える

	取組み	実施主体
短期	①清掃活動の継続 ・美しい砂丘がこれからも維持されるように事業者や地域が協働で清掃を実施する	・事業者、地域住民
中・長期	②遠州灘海岸侵食対策	・県、市

方針1-② 美しい砂丘景観を伝える視点場づくり

	取組み	実施主体
中・長期	③視点場整備の検討	・市
	④視点場の周知（P R）	・市

目標2 農を通じた自然の大切さ、楽しさを伝える景観づくり

方針2-① 通過者や観光客に農の景観を見せ、魅力を伝える

取組み	実施主体
<p><b>短期</b></p> <p>⑤通過者に農の魅力をPRするため、道の駅の駐車場でイベントを実施する</p> <p>⑥他の観光地に訪れた人に対して農の景観を伝えるため、連動したPRを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（農作物の収穫時期やイベント等と社会実験の時期が合えば）イベントのモデルルートとして組み込む</li> </ul> <p>⑦農作物を絡めた体験メニューの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅に整備中である芋加工場を観光体験の場として活用し、観光体験メニューを構築する</li> </ul> <p>⑧農の景観を伝えるため、わかりやすい案内標識を整備し誘導する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光農園～道の駅を誘導するため、デザインが統一された案内標識を整備する 【公共サインや観光案内板の色彩・形状・配置）</li> </ul>	<p>・事業者、市</p> <p>・市</p> <p>・事業者、市</p> <p>・市</p>



目標3 砂丘と道の駅周辺を一体で楽しむことができる環境整備

方針3-① エリア全体を楽しむことができるおもてなし空間づくり

	取組み	実施主体
短期	<p>⑨わかりやすい案内標識の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「砂丘～道の駅」を回るモデルルートを周遊できるように、デザインが統一された案内標識を整備する</li> <li>【公共サインや観光案内板の色彩・形状・配置】</li> </ul>	・市
中・長期	<p>⑩砂丘～道の駅間のアクセス性を向上させるレンタサイクルやサイクルピットの整備検討</p>	・市
	<p>⑪思わず通ってみたくなるサイクリングロードの整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木陰のトンネルの整備等</li> </ul>	・市

方針3-② 市内と海を一体的に楽しめる視点場づくり

	取組み	実施主体
短期	<p>⑫座って眺望を楽しむことができる視点場の整備（ベンチの設置等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大山不動尊」の一番いい眺望を楽しむことができる位置にベンチ等を設置することで視点場を整備する</li> <li>【眺望点（視点場）の配置】</li> </ul>	・地域、市
中・長期	<p>⑬モデルルートの設定、イベント、PRの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂丘～道の駅を回るモデルルートを設定し、サイクリングで回ってもらえるようPRやイベントを展開する</li> <li>・イベントは「大山不動尊」の上まで行ってもらえるよう、付加価値を付けるなどして誘導する</li> </ul>	・事業者、市

# 7. 景観施策(案)のイメージ図



## 全体

- ④ 視点場の周知 (PR)
- ⑥ 他の観光地に訪れた人に対して農の景観を伝えるため、連動したPRを展開
- ⑦ 農作物を絡めた体験メニューの構築
- ⑧ ⑨ わかりやすい案内標識の整備
- ⑩ 砂丘～道の駅間のアクセス性を向上させるレンタサイクルやサイクルピットの整備検討
- ⑬ モデルルートの設定、イベント、PRの検討

⑤ 通過者に農の魅力をPRするため、道の駅の駐車場でイベントを実施

⑪ 思わず通ってみたいくなるサイクリングロードの整備検討

- ① 清掃活動の継続
- ② 遠州灘海岸侵食対策
- ③ 視点場整備の検討

凡例 紫字：短期的な取組み  
緑字：中・長期的な取組み